

# 第 49 回静岡県児童生徒木工工作コンクール

## 【 趣 意 書 】

テーマ：『日本の木から創造しよう、木工工作は爆発だ』

太古より、木は人々の暮らしと深く関わり、二酸化炭素を吸収し、酸素を生み出す生態系の中心として存在してきました。適切に管理された山林は、土砂流出を防ぎ、保水力を高め、公益的な役割も担っています。

伐採後も、木材として住宅をはじめ、様々な形で私たちの生活を支えてくれます。

私たちは、この「木」の良さを未来へ繋ぎ、人々に伝えていく使命を担っています。子どもたちが幼い頃から木に触れ、関わること、そしてそのきっかけ作りが重要です。

日本の木を使うことで、山林に利益が還元され、整備に役立てられる。日本の自然が織りなす原風景を守るためにも、国産材の利用は不可欠です。

今回49回目を迎える木工工作コンクールは、この理念を広く長く伝え続ける活動です。

今年度のテーマは「日本の木から創造しよう、木工工作は爆発だ」です。

木工工作をきっかけに木に関心を持つ次世代が育って欲しい。林業の未来、木材の未来、子どもたちの未来を明るくする！そのために爆発だという言葉を使わせて頂きました。木は人の感性を豊かにします。

香り、温もり、手触り、個性豊かな木目や材質、加工のしやすさ、そして叩いた時の心地よい音色。木工工作を通じて、普段ではなかなか体験できない感覚を味わうことができます。AI時代と呼ばれる現代、機械的な生活に慣れ、人の感覚や感動が鈍ってしまうのではないかという懸念があります。だからこそ人の感性、創造力を磨くことが重要です。日本国土の67%を占める木を使って自由に表現して欲しいとテーマに意味を込めました。

また木工工作を通じて多くの子ども達が「木」に触れて、感受性や創造性に富んだ社会人に成長してくれること、そして将来温もりある社会を築いてくれることを願い、家族、学校関係者、行政、木材関係者はもとより、男女問わず、子どもから大人まで多くの人を巻き込んで皆さんで「木」の可能性を考えてみたいと思います。

令和6年6月

- \* 主催 静岡県木材青壮年団体連合会
- \* 協力 静岡科学館 る・く・る
- \* 後援 (予定) 静岡県／静岡県教育委員会／静岡県教育研究会／  
静岡市／静岡市教育委員会／静岡県森林組合連合会／  
静岡県木材協同組合連合会／NHK 静岡放送局／  
静岡新聞社・静岡放送／中日新聞東海本社／  
テレビ静岡／静岡朝日テレビ／静岡第一テレビ／  
K-m i x／FMハロー／日本木材青壮年団体連合会

